

ごあいさつ

加古川おやこ劇場は、プロによる“生の舞台”を通して心を豊かに育む『例会活動』と、自分達でしたいことを持ち寄り、様々な体験活動を通してたくましく生きる力を養う『自主活動』を二本の柱に、会員みんなで育ちあう「子育て 親育ちの会」として1974年11月に誕生しました。以来50年間、地域の皆さまに支えられながら、地域に根差した活動を続けてまいりました。

日本各地から、また海外からも創造団体やアーティストを迎え、親子と一緒に、定期的に様々なジャンルの生の舞台に触れることを大事にし、「観る」だけでなく、会場づくりや劇団の食事や差し入れづくり、当日の受付や会場係などを通して「関わる」楽しさも、会員みんなで共有してきました。互いの感想を出し合い、自分とは違う観方や感じ方に触れることで、子ども達の“心のポケット”をより豊かにふくらませることも大切にしてきました。

この50年で子ども達を取り巻く環境は大きく変わりました。女性の社会進出、少子高齢化、価値観や趣味の多様化、また、IT（情報技術）の進化や長引く経済の不況、地球温暖化による自然災害、そして2020年からのコロナ禍による影響…。揺れ動く社会情勢のなか、これまでのような会員制による活動は一旦締めくくることがとなりました。これまで様々な方面で劇場を支え、応援して下さった皆さまに心から感謝しております。

劇場発足のきっかけをつくってくださり、その後もずっと応援して下さった人形劇団京芸さんの作品で、長らくお世話になった加古川市民会館を会場に、劇場の幕を下ろさせていただきます。

加古川おやこ劇場の最後の例会を、ご家族・ご友人の皆さまとともに楽しみください。

「火よう日のごちそうは ひきがえる」

おはなし……………

ひきがえるのウォートンは、トゥーリヤおばさんにおいしい砂糖菓子を持っていく途中、**みみずく**に捕まってしまいます。

「誕生日のごちそうにする」と言われて**ウォートン**は絶体絶命！

なんとか**みみずく**の家から逃げだそうとするのですが…。



演出家より……………

『火よう日のごちそうはひきがえる』は、冬の真っ最中におばさんの家までお菓子を届けに行こうと思い立つような、ちょっと迷惑なほどの行動力をもった**ひきがえるのウォートン**のお話です。雪の中を精一杯の厚着をしてスキーにのって行くウォートンの様子は、おかしくもありかわいくもあります。

そんな**ウォートン**が、**みみずく**の火よう日のごちそうにと捕まってしまうのですが、ここでもその行動力が**みみずく**を惑わせたりします。一緒にいる間ぐらいいは気持ち良く暮らしたいという**ウォートン**の、生きる事を諦めないひたむきさが、自分の名前さえあったのかどうか忘れてしまった**みみずく**の暮らしを、微妙に変化させていきます。携帯電話やメールやインターネットなどで便利になった分だけ、実際にふれあうことが少なくなったこの時代に、食べられるかもしれないという緊張感の中でお茶を飲みながら話す、**みみずく**と**ひきがえる**の何気ない会話の中から生まれてくる不思議なふれあいや、理屈では言えないような思いが、観る人のあたたかな本当のごちそうになれるようにと思っています。

★「火よう日のごちそうはひきがえる」特別会員券(チケット)のお申し込みは 加古川おやこ劇場の会員、または事務所まで

お知らせいただきたいこと

- ①枚数
- ②参加する方全員のお名前
※子どもさんの年齢または学年もお知らせください。
(客席づくりの参考にさせていただきます)
- ③電話番号…緊急の連絡がつく番号をお願いします。
★個人情報の取り扱いには細心の注意を払います。

【事務所 所在地】

住所 〒675-0066 加古川市加古川町寺家町 337
(加古川市総合福祉会館南側)

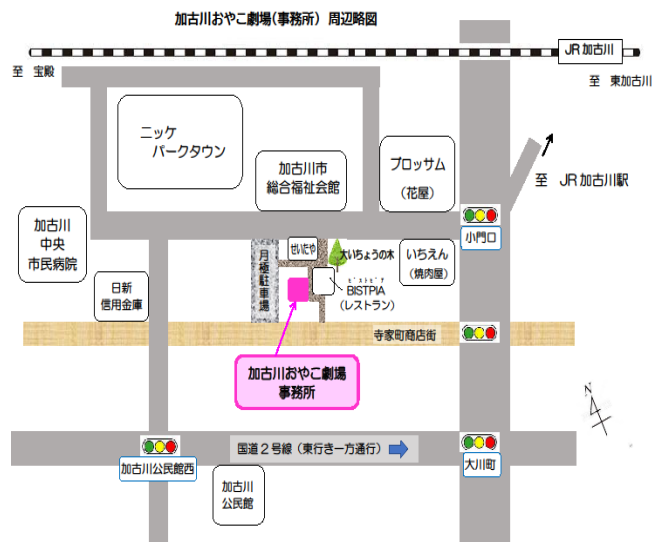
TEL 050-7551-3269

TEL/FAX 079-421-3269

Eメール kakogawaoyakogekijyo@beige.plala.or.jp

メールでのお問い合わせ・申し込み時は、おやこ劇場からの返信が受け取れるように設定をお願いします。

※事務所の開局日時については
ホームページをご覧ください。→



※加古川おやこ劇場は非営利の団体で、いかなる宗教団体・政治団体にも属していません。